

令和7年度病害虫発生予察注意報第6号

令和7年10月1日
岐 阜 県

作物名 野菜類

病害虫名 コナジラミ類（タバココナジラミ、オンシツコナジラミ）

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 10月上旬以降

3 発生程度 多い

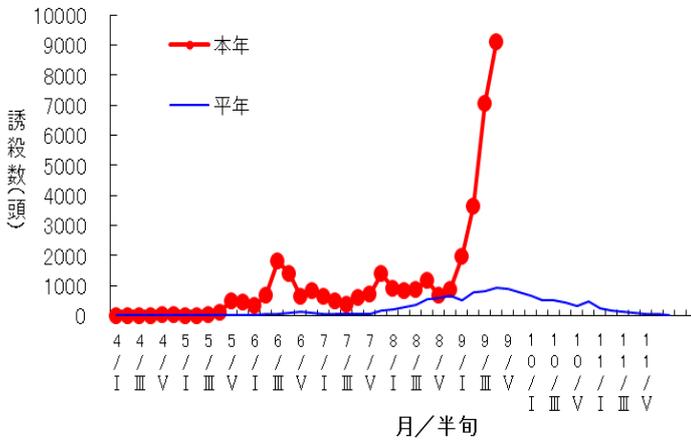
4 予報の根拠

- (1) トマト栽培施設の周辺に設置した黄色粘着板におけるコナジラミ類の誘殺数は、海津市で21,807頭（平年比約5.5倍 9/1～9/20の累積）、恵那市でも8月下旬から急増している（図）。
- (2) ほ場周辺の雑草地で、コナジラミ類の寄生が顕著に認められている。
- (3) 名古屋地方気象台の1か月予報（9月25日発表）では、今後の気温は平年より高いと予報されており、増殖に好適な気象条件が継続すると予想される。

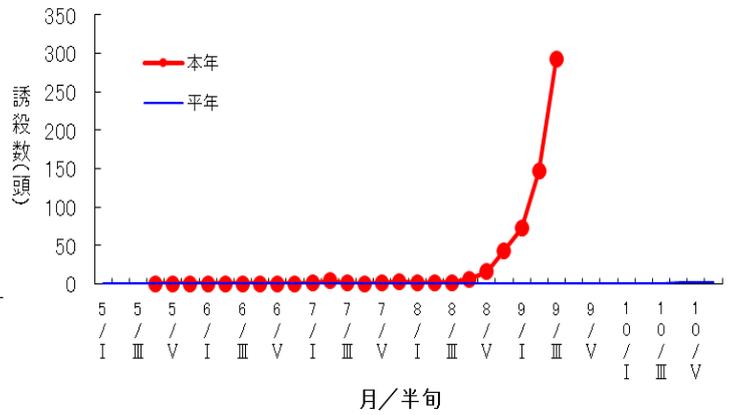
5 防除上の注意事項

- (1) コナジラミ類は様々な野菜に寄生し、成虫・幼虫が葉裏から植物の汁液を吸うことで、成長阻害や白化、ウイルス病の媒介、排泄物によるすす病の発生といった深刻な被害をもたらす（写真）。
- (2) タバココナジラミは、トマト黄化葉巻ウイルス（TYLCV）、ウリ類退緑黄化ウイルス（CCYV）、トマト退緑ウイルス（ToCV）などを媒介する。オンシツコナジラミは、トマト退緑ウイルス（ToCV）などを媒介する。
- (3) 定植前の苗にコナジラミ類の寄生がないか確認し、ほ場への持ち込みを防止する。
- (4) 多発してからの薬剤防除は困難なことから、ほ場での発生状況に注意し、早期発見・早期防除に努める。
- (5) ほ場内や周辺の雑草は、コナジラミ類の増殖源となるため、除草を徹底する。
- (6) 施設栽培では、天窗を含むすべての開口部に目合いの細かい防虫ネット（目合い0.4mm以下）を展張し、野外からの侵入防止を徹底する。
- (7) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤連用を避ける。
- (8) 農薬の使用にあたっては、最新の登録情報を参照し、適正に使用する。
(<https://pesticide.maff.go.jp/> 農薬登録情報提供システム)

【参考資料】



黄色粘着板によるコナジラミ類誘殺数の推移(海津市日原)



黄色粘着板によるコナジラミ類誘殺数の推移(恵那市)

図 黄色粘着板によるコナジラミ類の誘殺数



①オンシツコナジラミ成虫
(体長0.8~1.1mm)
*翅先が重なり合う

②タバココナジラミ成虫
(体長0.8mm内外)
*翅先が重なり合わない



③コナジラミ類が媒介したウイルス感染により発生したトマト黄化病
*トマト退緑ウイルス (ToCV)

④コナジラミ類の排泄物により果実表面に発生したすす病

写真 コナジラミ類の特徴と農作物被害(トマト)